

らしんばん



議会報告

令和8年2月議会号

発行日 / 令和8年3月31日

発行: 静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所



目次

ハイライト	P1
1. 県議会2月定例会開催(概要説明)	P1
2. 令和8年度 静岡県当初予算	P2~3
3. 常任委員会(文化観光委員会)の論戦から	P4
4. 視察・研修報告、国へ提出される意見書	P4
5. 地域の課題と進捗状況、ホットなつぶやき	P4



TGC(Tokyo girls collection Shizuoka)2026を初視察。本県の魅力発信に大きな力を発揮していた。



茨城県にある「那珂フュージョン科学技術研究所」を視察。核融合発電研究の最先端を垣間見る。



令和8年度当初予算に対し自民改革会議全員での要望活動において、その内容を知事や幹部に説明。

ハイライト



CNF(セルロースナノファイバー)のメッカとなった富士市に県所有のCNF製自動車が出来た。いつか試乗を。



今定例会に上程された「長期休暇に関する特別職報酬条例改正」について全議員を代表し、趣旨説明。



3月に富士宮市で発生した豚熱感染に関し、その対策等を盛り込んだ緊急要請を知事に渡し、説明。

1. 県議会2月定例会開催(概要説明) 【会期2月17日～3月16日まで】

静岡県議会2月定例会が閉会しました。今定例会は、令和8年度当初予算および令和7年度2月補正予算が主な審査内容でしたが、その他にも教育長の辞任に伴う人事案、議員提出議案として「特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例案」、国に対する意見書や決議などの審議が行われ、いずれも全会一致で採択されました。

予算規模は、令和8年度当初予算は1兆4,141億円(対前年度比+418億円)で過去最大の規模となります。

歳出の状況は、①義務的経費は、給与改定による人件費の増、社会保障関係費の増ほか(+319億円)。②税収関連法定経費は、市町への税交付金の増(+155億円)。③投資的経費は、食肉センター、防潮堤整備の進捗に伴う減ほか(△133億円)。④その他の経費は、地域未来基金の造成(積立)、教育無償化による増ほか(+77億円)。

歳入の状況は、一般財源等で県税、普通交付税の増ほか(+810億円)です。

令和7年度2月補正(国補正分)は582億円で、物価高騰対策、国土強靱化等に充てられます。

知事は2月定例会冒頭で、まずは令和10年度までに資金手当債の発行から脱却することを目標に、健全財政への道筋を明確にする。

また、国では、高市首相が掲げる「責任ある積極財政」の方針の下、力強い経済成長を実現し、財政の持続可能性と国民所得、企業収益の伸長により未来を希望に変える政策を実現している。こうした国の方針にしっかり呼応し、静岡県の未来の経済基盤を形づくるための投資、未来の人材を育むための投資、県民の安全・安心を確保するための投資について、積極的に対応する。

財政健全化と未来への積極投資の両立は困難な課題ではあるが、来年度を、県勢を「停滞から成長へ」転換する始まりの年とするべく、東中西の地域的なバランスに配慮しながら、県内市町をはじめ県民、企業、団体など様々な主体が協力・連携する「オール静岡」体制で取り組むと説明していました。その考えを取り込んだ令和8年度当初予算編成となっていると感じています。

議員提出議案として「特別職の職員等の給与に関する条例の一部を改正する条例案」は、長期休暇に関する議員報酬等のあり方についてで、私が全議員を代表して、説明を行いました。

今年度は、県議会文化観光委員会に所属し、党県連幹事長および会派代表に就任



2. 令和8年度 静岡県当初予算

令和8年度静岡県当初予算:1兆4,141億円

主に新規・拡充した事業をご紹介します。



命を守り暮らしを支える土台づくり



地震・津波・火山等災害対策

地震・津波対策等減災交付金

25億円

市町が取り組む地震・津波対策を支援(R7当初比+2億円)

プロジェクト「TOUKAI-0+(プラス)」総合支援事業費

4億4,700万円

第4期県耐震改修促進計画に基づく木造住宅の耐震化・減災化を促進

新規 簡易補強、部分補強、外部補強助成(400件)

公共インフラの強化

一般公共事業費(国土強靱化対策等)

949億2,500万円(2月補正を含む)

道路施設の老朽化対策、河川改修、農業水利施設整備 ほか
前年度を上回る公共事業への投資

R7:858億8,900万円 →

R8:949億2,500万円(2月補正+当初予算)

ライドシェア関連事業 9,300万円(2月補正を含む)

新規 ライドシェアや自動運転の実装に取り組む市町への支援 ほか

防災・減災対策 生活環境の向上

生活環境整備関連事業

総額 370億円

県単独生活環境整備事業費 …………… 280億円

(R7当初比+10億円)

命と暮らしを守る道路緊急対策事業費 …… 15億円

緊急豪雨災害対策強化事業費 …………… 15億円

県土強靱化対策事業費 …………… 30億円

緊急自然災害防止対策事業費 …………… 30億円

地域経済を元気に!



次世代まちづくり

次世代エアモビリティ導入促進事業費

5,100万円(2月補正を含む)

新規 空飛ぶクルマの商用運航に向けたビジネス化の支援 ほか

次世代産業の創出

地域未来基金積立金 **新規** 120億7,000万円

産業クラスターの形成や
地場産業の付加価値向上等を支援するための基金を創設

伊豆ヘルスケア温泉イノベーション推進事業費

4,400万円(2月補正を含む)

新規 モデル旅館への入居経費等を支援(補助率:1/2)

地域産業の振興

中小企業等付加価値創出事業費助成

22億6,700万円(2月補正を含む)

中小企業等の経営力や生産性向上の取組を支援
賃上げの継続と企業の成長を促進

拡充 賃上げを伴う場合 補助率:2/3

R7:8億5,500万円→R8:22億6,700万円(2月補正+当初予算)

県産酒米価格高騰対策緊急支援事業費助成

(2月補正)1億700万円

価格が高騰している県産酒米等購入費の支援

新たな活力の創造

企業立地推進関連事業 79億7,100万円(2月補正を含む)

工場の新增設に伴う用地取得や建物建設費を支援

新規 新たな企業誘致戦略の策定 ほか

観光の振興

観光誘客関連事業 7億3,300万円(2月補正を含む)

滞在の長期化や旅行の消費拡大に向けた取組を実施

新規 インバウンド富裕層観光者向けの旅行商品の造成 ほか

観光施設整備事業費

11億円

新規 インバウンド向け改修や
リノベーション改修の助成(補助率:1/2) ほか

農林水産業

農業の担い手確保関連事業 6億9,100万円(2月補正を含む)

農業の担い手を確保するため、研修等により就農を支援

新規 AIを活用した就農相談、就農後の早期経営安定等に向けた研修

畜産の振興

静岡県産和牛消費拡大推進事業費 **新規**

(2月補正)1,000万円

食肉センターの供用開始を契機に県産和牛知名度向上や
消費拡大を促進

新商品開発、テスト販売・PRを実施



県民の声に応える県議会最大会派として 「自民改革会議」が様々な要望を実現!

林業の振興

早生樹活用による次世代林業モデル創出支援事業費 **新規** 1,200万円

早生樹の導入等による新たなモデル構築の実証実験
森の力再生事業費 10億2,900万円

森林づくり県民税を活用し、
第3期森の力再生事業を実施(R8~R17)

水産業の振興

「海業」推進事業費助成 9,000万円(2月補正を含む)

異業種等との連携により水産振興を行う新たな取組を支援

伊豆の磯焼け緊急対策事業費 (2月補正) 1,400万円

海藻の移植によるアワビ回復対策を実施



誰もが安心して暮らせる社会へ

医療体制の強化

小児患者世帯交通費等支援事業費助成 **新規** 900万円

入院や通院にかかる交通費等を支援

拡充 医療的ケア児世帯を追加

福祉対策

ひきこもり対策推進事業費 3,700万円

新規 メタバースを活用したオンライン上での社会参画支援

こども政策の充実

しずおかみんなで子育て応援推進事業費 **新規** 8,400万円

民間事業者等による子育てに優しいまちづくりの取組を支援 ほか

多様な保育推進事業費助成 13億1,200万円

延長保育事業等の多様な保育サービスを実施する市町への助成

拡充 1歳児の職員配置基準が5:1となるように支援

物価高への対策

周産期母子医療・精神科救急運営費助成関連事業 **新規**

(2月補正) 5億7,600万円

精神科救急医療対応病院や

ハイリスクな分娩を取り扱う病院に対する支援 ほか



未来をつくる人づくり

信頼される学校教育の確立

不登校対策関連事業 1億3,400万円

フリースクール支援の継続(補助率: 1/2)

新規 学びの多様な学校設置を検討する市町への支援

公立学校給食費助成 **新規** 89億8,900万円

給食を実施する公立小学校等に通う生徒に対する支援

教育環境の整備

県立学校等修繕関連事業 59億6,800万円(2月補正を含む)
[R8-9債務] 11億7,100万円

県立学校の修繕ほか(トイレ洋式化 R9までに完了)

R7年度比+25億5,400万円

高校教育の充実

理系人材育成事業費 **新規** 4,000万円

高度理系人材の育成支援及び義務教育年代への興味喚起

高校無償化関連事業 72億4,400万円

高校授業料の無償化(所得制限撤廃)、
授業料以外の教育費の支援

拡充 年収270万円未満(非課税世帯)→
年収490万円未満(中所得世帯)

毎日の安心ときれいな環境を守る

スポーツの振興

eスポーツ未来共創事業費 **新規** (2月補正) 1,800万円

eスポーツイベントの実施及び関連産業の創出支援

移住・定住の促進

二地域居住推進事業費 **新規** 900万円(2月補正を含む)

地域の活力や豊かな生活を維持・向上させていくため、

二地域居住を推進

脱炭素社会の構築

脱炭素社会実現推進事業費

2億7,500万円(2月補正を含む)

中小企業等の省エネ・再エネ設備導入を支援(補助率1/2ほか)

拡充 補助対象設備に断熱材等を追加

県民の安全・安心の確保

警察官増員対策事業費

+12人

サイバー犯罪、匿名・流動型犯罪グループへの対応強化

3. 常任委員会の論戦から(質問項目概要)

1. 静岡県富士水泳場可動床他工事契約
 - ①工事計画と再開について。②利用者への影響。
2. 日本平山頂シンボル施設の設置及び管理に関する条例改正
 - ①利用料金の徴収方法について。②100円の利用率導入による将来負担の軽減。想定される大規模修繕等の見込額と利用料金導入による効果。③改正理由にある「機能維持やサービス水準の持続的確保」のサービスの内訳。
3. 富士山静岡空港に「空港戦略推進官」を設置する
 - ①設置理由(課題等)と役割。②組織内の位置付け。③期待される効果。④「検討会議」の内容。
4. 令和8年度「スポーツ施設の管理等」
 - ①県立水泳場、富士水泳場、県武道館のそれぞれの稼働率。②各施設の今後の大規模修繕や建替等についての計画。
5. ネットワーク型障害者スポーツセンターの専門人材育成において「理学療法士派遣」の①役割。②委託方法。③委託料の内訳。
6. スポーツコミッションShizuokaの取組
 - ①外部組織化した法人の会員となる企業のメリットや資料に記載されている「会員企業を中心とした共創事業」とは何か。②外部組織が自主事業を行い自主財源確保のための収益の上げ方。
7. 12月定例会でも取り上げた「伝統芸能等の継承」

富士市とココカミノルタが連携し、富士市の「鵜無ヶ淵神明宮神楽」をモデルにAI技術を用いた「伝統芸能の保存継承・活用システム」の開発と実証実験を行った。これらの成果に対する今後の県の支援策と取組。
8. 観光施設整備事業費補助金の制度改正
 - ①中国人客の訪日数が減少しているがその実態と県の支援。②補助金制度改正における訪日中国人減少への支援活用の可否と周知方法。

◆2月議会で決定した国へ提出される意見書

- ①国と地方自治体が連携したインテリジェンス体制の整備を求める意見書
- ②子の安全性を担保した離婚後共同親権制度の運用を求める意見書
- ③スマート農林水産業の推進を求める意見書
- ④クマ被害防止対策への支援強化を求める意見書
- ⑤太陽光発電設備の適正な廃棄処理及びリサイクル推進を求める意見書

◆本県議会としての決議文

北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を目指す決議

♥ホットなつばき

会派の代表になったのは昨年6月。直後の参議院議員選挙。10月に高市内閣発足。1月の衆議院議員選挙とめまぐるしく変化する国政の動向に翻弄される一年でした。それだけに地方政治への影響と対応など貴重な体験をさせていただきました。

県政相談窓口 ♥お気軽にどうぞ!

地域の課題、道路・河川等の整備等についてのご相談窓口です。ご相談いただいた内容については、必要に応じ関係機関と調整しますが、内容に応じてお時間がかかることもありますので、ご容赦下さい。

4. 議会外の視察・研究報告



「鵜無ヶ淵神明宮神楽」をモデルにAI技術を用いた「伝統芸能の保存継承・活用システム」の開発と実証実験披露。



「JAしみず」に導入されるAIを用いた柑橘類自動選果システムを視察。3JAが共同利用できる国のモデル事業。



「ガンダム」を代表とするバンダイのキャラクターの企画から製造までの一環設備と、それを担う先端技術を視察。大人も夢中にさせてくれる。



東京2020オリンピック・パラリンピックのレガシーとしてサイクリストの聖地を目指す富士市では「富士サイクルロードレース」が誕生し、回を重ねる。

5. 地域の課題と進捗状況 (各地の要望等から)



地元、富士岡一支部消防隊の出初め式。高齢化による隊員数の減少が問題だが、火災時の機動力は見事。



鵜無ヶ淵1丁目の総会に出席。早朝にもかかわらず、多くの住民が出席。県政報告を兼ね地域課題を探った。



富士日韓協会の行事に参加。在日の方もいて、民間交流を活発化するため両国の歴史や習慣などを調べ発表していた。



吉永北地区の菜の花まつり。初参加の金指市長が、地域活性化のための汗をかくと表明。市と県連携はお任せあれ!

発行者: 静岡県議会議員 鈴木すみよし事務所

「県政相談窓口」および「らしんばん」連絡先

静岡県富士市比奈1418番地の2〒417-0847

☎ 0545-34-0683 FAX.0545-38-0070

メールアドレス himena@tokai.or.jp

ホームページ <http://sumiyoshi.info/>

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/sumiyoshi1956/>

